太田メディカルクリニック患者会会報ー原則毎月発行　2026(令和8)年6月15日(月))発行

みどりの風 NO.91

発行・編集責任(緑風会会長　大矢正明)

NPO 岐腎協 50 回大会開催される

～創立 55 周年～　約 340 人が参加

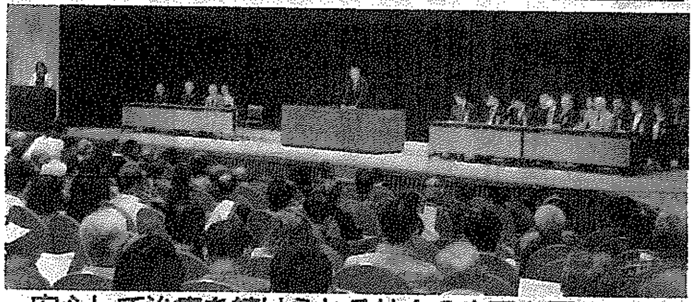
いい大会だった、参加してよかった、元気がもらえた大会だった等の声

「透析患者の声　今後も社会へ」

美濃加茂で岐腎協大会

県内の透析患者でつくるNPO法人「県腎臓病協議会(岐腎協)」の大会(中日新聞社、中日新聞社会事業団後援)が7日、美濃加茂市文化会館「かも～る」で開かれ、患者ら約340人が誰もが安心して治療を続け、人生を歩める社会の実現を願った。

コロナ禍で中止になった2021年の「50周年大会」として、創立55年に合わせて7年ぶりに対面の大会を開いた。田中和博会長(65)は不安定な国際情勢が医療物資やエネルギー供給へ影響することを懸念。透析は大量の水、電力、医療材料が必要なことを指摘して「安心して治療を受けられる環境を守るため、今後も患者の声を社会に届ける」と力を込めた。



安心して治療を続けられる社会の実現を願い開催された大会＝美濃加茂市文化会館「かも～る」で

岐腎協によると、県内の患者約5千人のうち約1800人が加入。組織率は全国トップで長年、署名や請願などを通し、治療環境の充実を国に訴えてきた。

大会では新可児クリニック(可児市)の二村泰弘院長(48)が治療技術の現状などについて講演した。

(山本真嗣)

6月8日 中日新聞

大矢緑風会会長の「患者の訴え」を聞いて

(LINEより拾う)

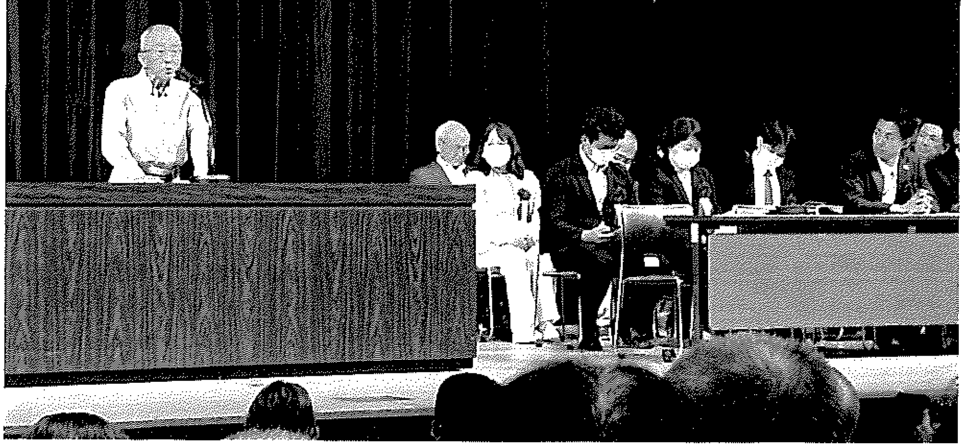
登壇お疲れさまでした。とても落ち着いて皆さんに聞き取り易く話されていたと思います。大学の講義もあの感じでやられているのかしら?とも思いました。やっと奥様への感謝言えましたね。シンガー英樹さんユーモアたっぷりで話されていましたね。美濃加茂市開催とのことでいろいろ尽力された事と思います。無事終われてよかったです。誘っていただき有難うございました。お疲れさまでした。(教え子)

正明君の体験談は本当に良かったです。特に奥様への感謝の気持ちを伝えてくれたことは何よりです。私たちの年代の男性はなかなか連れ合いに優しい気持ちを表すことが苦手です。

みなさん毎日命がけで生きておられることがよく分かり自分が健康で有難いとつくづく考えさせられました。これからも自己管理に務め長生き頑張ってください。陰ながら応援していま す。ありがとう。(小中同級生女)

訴えの最後に奥様に対する感謝の歌声「糸」を聴いて涙がでました。ありがとうございました!

(看護師)



↑訴えを発表する大矢